

行事予定

2019年(平成31年)5月～2019年(令和元年)8月

【特別展／企画展】

4月1日(月)～6月29日(土)

西南学院大学博物館研究室訪問シリーズII 山根明弘研究室「ねこ学への招待」
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

7月15日(月)～10月26日(土)

2019年度西南学院大学博物館特別展I「明治日本とキリスト教——蒔かれた種——」
[場所] 西南学院大学博物館1階常設展示室、1階特別展示室、2階講堂

【特別展／企画展関連イベント】

5月25日(土) 13:00～15:00

山根明弘先生トークイベント&ミュージアムコンサート
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
※申込不要、参加無料

【ワークショップ】

4月1日(月)～6月29日(土)

「教えて! あなたのネコ研究」
[場所] 西南学院大学博物館1階エントランス、廊下

8月23日(金)

夏休み!せいなんこどもワークショップ
[場所] 西南学院大学博物館
※要申込、参加無料

8月23日(金)・24日(土)

せいなんおでかけワークショップ in 南島原
[場所] 長崎県南島原市
加津佐図書館／深江図書館／有家図書館

【休館】

臨時休館 7月13日(土)

夏季休館 8月10日(土)～8月16日(火)

行事予定は日程、内容等が変更される場合がございます。

西南学院大学博物館 SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇[8/10～8/16]、キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28～1/5]、そのほか臨時休館あり

入館料 / 無料

[Facebook](#) seinamuseum [Twitter](#) @seinan_museum [Instagram](#) @seinan_museum

来館者掲示板

【来館者の言葉】

初めて西南学院に来ました。日本のキリスト教文化が大好きで、原城や島原・天草に何度も行って色々な博物館を見てきたけど、そこにはなかった初めて見るものがたくさんあり、楽しかったです。(2018年12月)

特別展「宗教改革と印刷革命」の図録ありがとうございます。僕は、キリスト教世界の文化に興味があるので、内容はまだバラバラとしか読んでいませんが、しっかりきちんと細かく調べられているのだと興奮しました。家に帰って、後ろのほうにある論文を読むのを楽しみにしています。(2019年2月)

相島へ行ったことがあるので、今度は湯島へ行ってみたいになりました。猫のことを色々考えるいい機会になりました。(2019年4月)



当館では、1月から3月にかけて企画展「宗教改革と印刷革命」を開催いたしました。寒さが厳しい期間での開催でしたが、期間中は多くの来館者の方にご来館して頂きまして、ありがとうございました。さて、4月1日より研究室訪問シリーズ「ねこ学への招待」が開催されています。スタッフ一同、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

学芸調査員 内野 舞衣

編集後記

新しい元号とともに、今号は新しい博物館スタッフたちによる記事に、「資料でみる西南学院の歴史」の新連載にと、新しいことづくしとなりました。変わるもの、変わらないもの、両方を大切にしながら今年度も頑張っております!

学芸研究員 山尾 彩香

アクセスマップ ACCESS MAP



- 福岡空港 → 西新駅下車...約17分
- 博多駅 → 西新駅下車...約12分
- 天神 → 西新駅下車...約8分
- ※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
- 博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分
- 天神 → 修猷館前...約20分
- ※修猷館前バス停から徒歩5分
- 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分
- 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分
- 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 37 2019.5

郷西南学院大学

所蔵品紹介	【キリスト教文化】エステ家アルフォンソI世の聖務日課(複製)
資料でみる西南学院の歴史	西新校地選定当時
展覧会紹介	ねこ学への招待 / 明治日本とキリスト教—蒔かれた種—
博物館通信	「オルガン・レクチャー・コンサート」ほか



所蔵品紹介 特集

【キリスト教文化】

エステ家アルフォンソI世の聖務日課(複製)

Offiziolo Alfonsino (Facsimile)

出版: Il Bulino / 2002年 / 26×17cm

原資料: イタリア / 1510-12年 / 羊皮紙、手彩色

本資料は、アルフォンソ・デステI世(エステ家アルフォンソI世 Alfonso d'Este I, 1476-1534)がフェッラーラ派の細密画家マッテオ・ダ・ミラノに制作させた聖務日課です。本資料の制作を命じたエステ家とは、中世から近代にかけてイタリアの中部の都市フェッラーラ、モデナ、現在のレージョを統治していた貴族の家系です。アルフォンソ・デステI世は、1505年から1534年にかけてフェッラーラを治めていました。聖務日課とは、カトリック教会の典礼において日々の定められた時間に行う祈り、あるいは祈りの言葉をまとめた書物のことで、ルネサンス期に制作された聖務日課は当時の王侯貴族らの意向が反映されています。アルフォンソ・デステI世はフェッラーラ公に就任した1505年にマッテオ・ダ・ミラノに本資料の制作を依頼し、1510年から1512年の間に制作されました。マッテオ・ダ・ミラノが属するフェッラーラ派とは、ルネサンス期にフェッラーラで栄えた画派のことです。

本資料のオリジナルは、ウィーンのオーストリア=エステ家(ハプスブルク=エステ家)の遺産として、リスボンにあるカルースト・グルベンキアン財団博物館とザグレブのストロスマイヤー・ギャラリーの2つに分けられて所蔵されています。カルースト・グルベンキアン財団に所蔵されている写本は、179葉の装飾された羊皮紙と6葉の保護紙で構成されており、赤いモロッコ革で装丁されています。ストロスマイヤー・ギャラリーに所蔵されている写本は、装飾された14葉の羊皮紙で、枠が切り取られた状態で額に入られています。本資料はこの2つの写本を合成した複製品となります。

今回紹介するページは「7つの痛悔詩篇」の冒頭になり

ます。「7つの痛悔詩篇」とは旧約聖書において神に罪の許しを求める詩篇第6篇、第32篇、第38篇、第51篇、第102篇、第130篇、第143篇を指します。紹介するページには詩篇第6篇の「主よ、怒って、わたしを責めないでください。憤って懲らしめないでください。主よ、憐れんでください。」という祈禱文がラテン語で書かれています。テキストの両脇に描かれている紋章の左側には「MISERERE MEI(わたしを憐れんでください)」、右には「DEVS SECVNDVM MAGNAM MISERCORDIAM(神よ、御慈しみをもって)」とあります。この箇所は、詩篇第51篇冒頭句になります。

学芸調査員 田中 恵





SEINAN GAKUIN

資料でみる西南学院の歴史

①

本資料は、1917年に撮影された一枚の写真です。一見、ただの松林と民家が写っているだけのように見えますが、よく見ると、写真中央、道の奥のほうに小さく写っている人がいます。この人は、西南学院の創立者C.K.ドージャー。本資料は、西南学院がやってくる以前の西新校地のすがたを写しています。

1916年の開校当時、西南学院は大名町5丁目(現在の赤坂2丁目付近)に校地を構えていました。しかし、大名の校地は敷地が狭く、開校前から学校運営によりふさわしい広い土地を求め、交渉を続けていました。交渉の末、1917年に学院は大名の校地を売り、その資金をもとに、早良郡西新町の海岸沿いの土地を購入します。このとき購入したのが、本資料に写る松林であり、またこの地は現在の東キャンパス南部に相当します。校舎を建てたり移築したりした後、1918年1月、西南学院は西新に移転します。移転当初の西南学院について『基督教報』(1918年1月24日)には「同学院は福岡市を西に約三丁、海に近き松林の間にあり。校舎の窓より北を眺むれば、松の梢を通して、筑紫の海の白波を望み得べく、神の人をつくるに、最も適したる地なり。」と記されています。

当博物館の建物の着工は1920年。本資料の奥に見える松林の辺りに博物館は建っているとされ、ドージャーが立っている

道路は、現在の博物館正面の門の前に伸びる道であるとされています。豆粒のように小さく写るドージャーが蒔いた西南学院という種は、その後発展を続け、現在の西南学院のかたちに実を結びます。西南学院の西新での萌芽を感じさせる一枚です。

学芸調査員 木村 新菜



【資料名】写真：西新校地選定当時(南方より見たる正門付近)
(豆粒のようなCKD)
所蔵：西南学院史資料センター



博物館通信

2019年1月から5月までに行った博物館活動や出来事の中からいくつかをご紹介します。

西南学院大学博物館では、2月にワークショップ「カリグラフィで作るグリーティングカード」を、3月に「オルガン・レクチャー・コンサート」を開催しました。ワークショップでは、企画展「宗教改革と印刷革命」と関連して手書きのグリーティングカードを作成し、印刷技術が発達する以前の写本の文化を体験しました。「オルガン・レクチャー・コンサ

ート」では、ルターやバハのコーラルについての解説を聞いたのち、パイプオルガンに合わせて合唱しました。どちらも日常生活では触れる機会の少ない、貴重な体験をお届けすることができたと思います。今後とも、西南学院大学博物館ならではの体験を皆様と共有できる企画を行いたいと思います。

学芸調査員 早田 萌



1月15日(火)～3月23日(土)
2018年度西南学院大学博物館企画展Ⅱ
「宗教改革と印刷革命」を開催しました。

2月16日(土)
ワークショップ「カリグラフィで作るグリーティングカード」を実施しました。

4月1日(月)～6月29日(土)
西南学院大学博物館研究室訪問シリーズⅡ
山根明弘研究室「ねこ学への招待」を開催中です。

3月13日(水)
企画展関連イベント
「オルガン・レクチャー・コンサート」を実施しました。

展覧会紹介

開催中

2019年度研究室訪問シリーズⅡ

ねこ学への招待

会期/2019年

4月1日(月)～6月29日(土)

会場/西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

主催/西南学院大学博物館

協力/山根明弘研究室

(西南学院大学人間科学部社会福祉学科)

西南学院大学図書館

書肆 吾輩堂

長崎の町ねこ調査隊塾

一般社団法人博多ねこ99ネットワーク

開催概要

「研究室訪問シリーズ」とは、西南学院大学の先生方が研究の合間にコツコツと集めてこられた貴重な個人コレクションや、長年の研究成果を博物館スタッフと協力して一挙公開するものです。第2回目は人間科学部の山根明弘先生にご協力を賜り、「ねこ」をテーマとした展示をしております。

本展覧会では、ネコ博士・山根明弘先生の研究紹介を中心に、ねこの生態を明らかにする学問「ねこ学」(Cat Studies)の世界へ、皆さんを招待します。ねこ学を通じて、ねこ人間の良い関係を築ききっかけとなれば幸いです。

関連イベント

■山根明弘先生トークイベント&ミュージアムコンサート

日時/2019年5月25日(土)13:00～15:00

場所/西南学院大学博物館2階講堂

参加無料・申し込み不要

■ワークショップ

「教えて!あなたのネコ研究」

期間/2019年4月1日(月)～6月29日(土)

会場/西南学院大学博物館1階エントランス・廊下



あくびする猫
2018年9月22日 湯島にて撮影



山根先生のノラネコ研究のための野帳

展覧会紹介

次回開催

2019年度特別展Ⅰ

明治日本とキリスト教—蒔かれた種—

会期/2019年7月15日(月)～
2019年10月26日(土)

会場/西南学院大学博物館1階常設展示室、1階特別展示室、2階講堂

主催/西南学院大学博物館

安政の開国にともない、長い禁教の時代を経て、キリスト教の宣教師が再び日本の地を踏んだ。しかし、活動は外国人居留地に限られており、明治維新後も依然としてキリスト教禁制は続いた。こうした中、長崎の浦上ではキリスト教徒の検挙も起こっている。その一方で、近く期待される日本人への布教活動に備えて来日した宣教師と出会い、聖書の教義に胸を打たれ、密かに洗礼を受けた者もいた。彼らは後に、伝道者や教育者として、日本の近代キリスト教の礎を担っていった。こうして、明治日本に蒔かれた種は、教育、文化、そして社会福祉といった様々な分野で豊かに実を結んでいく。



弥撒拝礼式 Ceremonial 1869(明治2)年/書冊/伯爾納鐸(ベルナルド・ブティジャン)編